

風早HOP!STEP!!JUMP!!!

HOJO NEW CRAFT 風早焼

愛媛県立北条高等学校

越智 鈴菜

村上 穂香

1 はじめに

「風早HOP!STEP!!JUMP!!!」とは北条地域を活性化するための商品開発・販売活動のプロジェクトチーム名です。私たちは、まず北条の特産物を調べることにしました。商店街の職種や道の駅に調査に行き、海産物・野菜・果物が特産品だと分かりました。この調査で私たちが気が付いたことは、北条の特産物に工芸品が無いということでした。そこで、北条高校には陶芸用の窯があるという特色と北条に隣接する今治菊間町の特産品である瓦を生かして新たな工芸品「風早焼」を開発することにした。

2 開発過程

菊間町にあるかわら館に行き、瓦について教えてもらったところ、かわら用の粘土と焼成方法は食器には向かないということであった。そこで磁土(磁器用粘土)を使い、瓦の焼成で砥部焼の白と菊間瓦のいぶし銀でデザインした器をイメージしてサンプル制作を始めた。

学校にある陶芸用の窯で素焼き、釉薬(透明釉)、本焼きまで仕上げ、さらに瓦業者をお願いして瓦の焼成で仕上げるといふ工程で完成を目指した。



砥部焼の白と菊間瓦のいぶし銀の2色に焼き上がった風早焼のサンプルが完成した。

このサンプルをベースにし、白といぶし銀の2色で表すデザインと絵付けに挑戦した。絵付けは陶芸用の絵の具のような物を使って行う。2色での渦巻き模様のデザインや砥部焼風の青色での絵付けのデザイン、カラフルな色合いの絵付けのデザインのサンプルを制作した。いろいろなデザインを試した結果、やはり白といぶし銀の2色のデザインか、あと1色加え3色までのシンプルな物が良いと考えた。



しかし、サンプルで大きな問題が判明した。それは、いぶし銀を付着させるときに汚れが目立つということだ。そして、砥部焼の白色がくすんだ白になることも気にかかった。この原因は炭素を付着させるため、仕方がないことがわかった。

風早焼サンプル 問題点



白色のくすみと汚れ

くすみと汚れのある食器では風早焼を販売工程まで開発するのが難しいと考え、風早焼のイメージコンセプトを「白といぶし銀」から「北条の海の青といぶし銀」に変更して再開発に臨んだ。使用する粘土も磁土から陶土(陶器用粘土)に変更し、釉薬を使って青色を出すことにした。今回のサンプルの問題点は陶芸用の釉薬と瓦の炭素がどのように反応し、何色に変化するのかという点である。そこで色サンプルを作成することにした。



上記の写真の右側が本来の釉薬の色で左側が瓦用の窯で焼きなおした釉薬の色である。このサンプルの結果、青磁の釉薬が青色に変化なく仕上がるのが分かったので、採用することにした。

最終サンプルでは鋳型を使用し陶土でコップを制作し、素焼き、釉薬、本焼きを学校の陶芸用の窯で行い、最終工程として瓦用の窯で焼成を行った。

最終サンプルが下記の写真である。「北条の海の青と瓦のいぶし銀」を特徴とした風早焼が完成した。



3 今後の課題

「風早HOP!STEP!!JUMP!!!」の取組ではすでに「じゃろっけ」という食品を開発し、地域のイベントで実演販売を行っている。今回開発した「風早焼」も地域のイベントで展示をさせてもらい、地域の工芸品として認知度を上げていきたいと考えている。「風早焼」の種類もコップ、お皿、茶わん、花瓶等たくさんの人に使用してもらえるものを増やしていきたいと考えている。今回の研究は、高校生として夢を持って開発した商品を地域の活性化につなげたいというコンセプトであった。今後は「風早焼」の販売に向けての研究に取り組んでいきたい。